

【刊夕】日八十月八

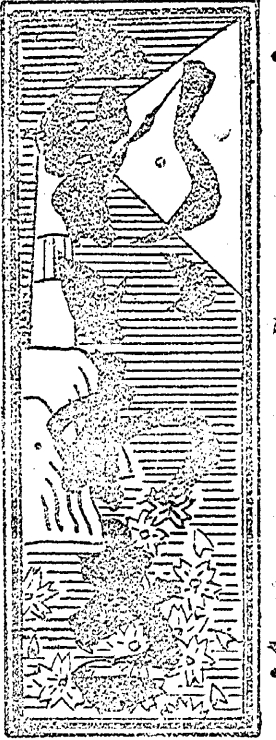


Table with multiple columns, likely a schedule or list of names and dates. Includes entries like '八月廿二日', '八月廿三日'.

平町會は廿一日招集

片倉への給水料問題では 何れ一波らんは免れまい

酒井助役 就任祝賀

酒井助役酒井寛之助氏の就任祝賀は本日午後六時上を是とする野崎氏一派と現り四丁目マルトモホールで

稲作悲觀を要せず

石城地方に於ける本年度の米作につき七月中は降雨つゞきで温度低く甚だしく不順な天候であつたため一般的に悲觀されてゐたが最近の稲作状況をききに

臨時列車

平野大童への 旅客吸収策

郡下産業組合の 営業いづれも不振

中止状態にあるもの すでに數ヶを算す

赤井の放火犯 留置場で急死

避暑青年 耐熱行軍

物語つてゐるもの

留置場での急死

避暑青年

物語つてゐるもの

留置場での急死

朝鮮舞樂公開 七月までの人口動態は出生二二九九だけ出生が多く男五五八(男二四〇、女三一)女別にすれば女が七八人男八)死亡三一(男一六六より多く死亡では十三人女一五三)婚姻一三三組、離少なく離然優勢を示してゐる

流石に廿一年の反映 工口と科學の全盛 平町の書店から見る

夏物 向傾 發行の H・ヤード リン「ブラック・チエンド」 武林夢櫻庵の一首断セル ナード「牧逸馬」の「パッド・ガール」などエロ物全盛で 通俗的なのは佐藤紅緑の「野に叫ぶもの」も鶴見祐輔の「ナポレオン」なども多

海神の犠牲 十四日小名瀬 築港内

女が斷然多い 平町半年間の人口動態

増え 嫉妬の味をす引つ極き食ひつき男の胸に甘き苦酸ごちや混せになつた妙なもの角を揮つて突つき廻す勢ひ何んだか譯の判らぬのよ

農業

栽培法(八)

播種から開引
 本誌農試 矢ヶ崎 崎 技手
 右城分場
 此の際それ等のものを整地と同時に鋤きむきがあるが之は又つて病害虫を受ける原因となる、又整地は丁寧に土塊を碎きながら深耕する必要がある
 整地が浅過ぎると根を牛じ易い傾向があるから注意しなければならぬ
 播種
 畑を前記の様に整地したならば畦立てを行ふのであるが畦は半畦が最もよいのである然し排水不良又は地下水の多い土地では止むなく高畦としなければならぬ然しながら高畦は概して根を生じ易い傾向がある先づ畦立てを行ふに當つて播種と條播であるが在來舊地方では線馬大根、聖院大根の如き大形種を條播する所が多いのであるが此の大形種に属する大根の品種の性状からしても種子の經濟からも又が虫害の他害虫の被害の程度から見ても餘り給構な方法ではない春大根の様なものは條播をなすのであるが以上の様な品種は是非点播にする必要がある点播の場合の畦の方向は南北に條播の場合には東西に設け養分を吸收する畑根を肥料のある方向に向はしめるのが理想的である

新益を御迎ひする

御盆は一年一度の祖先に對する大供養でありまゝ御飾りは御佛への禮でございます
 「佛壇佛具一切」を本年は昨年より二、三割安く四五年より見れば半値以下にて販賣いたします

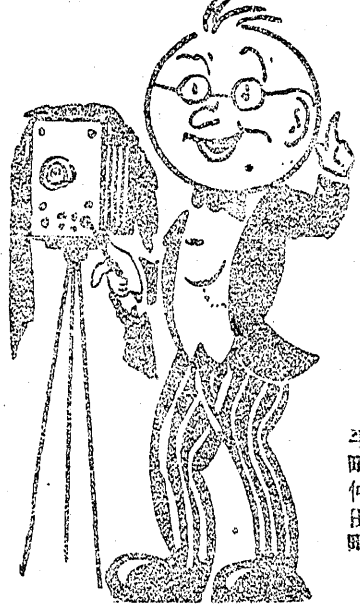
丸はん佛具部

平町三丁目
 電話三五九番

夏家具及び雜貨類

一掃大廉賣開催中

親切と迅速とをモットーする
 大野寫眞館
 平町仲田町



寫眞の御用命は當館へ……

お醤油は……ヤマフル

醤油 味噌
 たひら 正宗
 鯉節 食料品

鹽屋
 合名會社
 電話(本島) 二七〇番
 (本島) 二七〇番

看護婦

平町一丁目
 警備看護會
 電話三五七番

入院 藤沼醫院

平町
 電話七〇五番



黒髪之美!
 フツツと伸び上げた髪が、その艶……その輝……その艶……それは「八八」御用命の賜です
 染め方至簡単
 自然の黒さになる
 髪に染り、髪に染り、髪に染り……

平發賣所
 五丁目 山野邊藥局

開業院
 福島縣平町大町(新川端)
 醫學博士 難波 睦
 電話五〇二番

内科 平町南町
 小兒科
 大森醫院
 醫學士 大森 勇
 電話二五八番

飲んで良くなり (絶対に胃腸を害さぬ)
 淋病と 特效薬 濟淋
 本舖 責任製劑 水野藥局
 平町一丁目
 振替貯金口座 仙臺八八七六

煙突は……
 朝日
 石綿セメント製
 朝日煙突
 絶対に 煙がこぼれない!!
 やけどが心配ない!!
 経済的で 災災の心配がない
 益屋商店

矢野恒太序 大内民惠著
 教育 改革 概論
 發行所 東京市丸の内 日本評論社
 取次所 石城郡 内郷村報社
 定価 五十五錢
 郵税 六錢